

第4回
野木町タウンミーティング

テーマ「野木町の安全・安心策 について」

第4回 タウンミーティング
テーマ「野木町の安全・安心策について」



6月24日(土)、エニスホールにおいて、第4回タウンミーティングを開催いたしました。まず、災害に備えて常に体制を整えておきたいという旨の町長あいさつの後、「魅力いっぱい野木町の宝物」と題し、自然や歴史、人といった野木町の魅力をまとめた約6分間の映像をご覧いただきました。

皆さまからいただいたご意見の中から、今回のテーマ「野木町の安全・安心策」に関連するご意見の一部(要約)をご紹介します。

★ ★ ★

◎平成27年9月の豪雨災害時の逆川排水機場の故障の原因と、今後の対策はどうか、根本的な対策をしなければならぬ。

【上下水道課長】逆川排水機場の故障の原因ですが、大量の水と共に藁が流入し、それによりポンプに水が入らなくなり停止してしまいご迷惑をおかけした状態です。対策ですが平成27年度より一台ずつポンプを改修、修理しており、今年度、修理が全て終わる予定です。

【産業建設部長】一昨年、藁の流入対策として、逆川排水機場に藁が進入しないよう、除塵施設としてネット等を張りました。現在、逆川排水機場と管路等も含めた処理場全体のストックマネジメントとして長寿命化計画等策定を行っている状況です。また、堤防の強化について

は、思川左岸の堤防の強化を国土交通省にお願いしているという状況です。

【町長】ご質問の趣旨は、わが町の一番弱点とするところであり、現在、国・県の指導を受けながらストックマネジメントという計画を来年まで、三年間かけてやっているところですのでご理解いただければと思います。

◎排水機場のポンプ増設の計画について。当初の計画を早期に実現させるということが必要ではないのか。

【産業建設部長】ストックマネジメントの計画の中で、排水機場に今ある3台とプラスして計画どおりの残りの25台にもっていくため、どのような形の処理場を作ったらいいか、流量やポンプの増設も含めた検討をしているところですが、また、農業用水路から多大な流量もありましたので、例えば農業用水路の方からの量を減らすためにはどうすればいいかとか、例えば調整池とか、新たな放水路の検討や、逆川排水機場の当初の計画能力にもっていくためにはあとポンプを何台増設し、増設した場合

には今の建物では改築が必要ではないか、といったことも含めて現在検討しているところです。

◎豪雨被害の時に、避難所が野木二中から公民館に変更になった理由と、デイサービスを利用されている方や一人で移動できない方たちの避難対策について。

【総務課長】災害対策本部等の避難方法の指示系統の乱れから避難情報を出した時に目の前の道路の冠水が始まっていたこともあり、慌てて公民館等に変更させていただいたものと思います。ご迷惑をおかけしました。

体の不自由な方につきましては福祉避難所に避難していただくことになっており、当時はホープ館を福祉避難所にさせていただきました。またこれ以外にも、いち早く避難をしていただけるようにということで町の福祉施設等と協定等を結んでおります。

避難準備情報が出た段階でまず取るべき行動として、高齢者の方や障がい者の方、お子さんといった要配慮者の方々にいち早く避難所の方に避難していただきたいと思います。